

2021 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人栄寿会 吾が家

代表者・役職名 氏名 ホーム長 大橋達也

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

ミーティングやオンライン学習、研修会や余暇活動に利用可能な多目的スペース什器設置事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社会福祉法人栄寿会は昭和 50 年 4 月に開設しました。障がい者支援施設から始まり、児童養護施設、保育園、自立援助ホームと計 5 つの施設を運営しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

落ち着いて会話や学習が出来る場所を整備します。当ホームには集中して作業が出来る場所、周囲に聞かれずに話が出来場所がなく、職員間のミーティングも声を潜めて行っている状態でした。児童相談所やその他関係者と秘匿性の高い内容の話をする際には、先方に出向いたり、他施設を借りるなど、ホーム外へ出かけなければならない場合もあり大変不便でした。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

スタッフミーティングや来客対応、入居者との面談、入居者の学習スペース、オンライン授業を受ける場としても最適な多目的スペースを整備します。エアコンを取り付け、そして、テーブルやイスを複数設置して大人数でも対応できるようにし、プロジェクタ等を設置することで研修会やビデオ上映会等も実施可能とします。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

喫茶店やファミリーレストランで学習しているかのような環境にし、学習意欲の向上、集中力 UP がもたらされました。また、雰囲気の良い空間は、会議や心理療法、話し合いの場としても最適であり、気持ちを落ち着かせ進める事が出来ました。さらには外部の方や入居希望者が来た際にも、良い環境が整えられて暗い印象の自立援助ホームのイメージアップにもつながりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

将来的には地域住民や関係者への貸し出しも行い、様々な教室や研修・イベントに利用してもらい、地域とともにある自立援助ホームとなれることを目指します。多くの方とつながりを持ち、ともに入居者を支えられるようにして行きたいと考えております。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

